

| 東北大学大学院理学研究科 大学院合同入試説明会 |

# 仙台ってどんなところ？



地球物理学専攻 博士課程後期3年  
吹澤 瑞貴

# 自己紹介



名前：吹澤 瑞貴 (ふきざわ みずき)

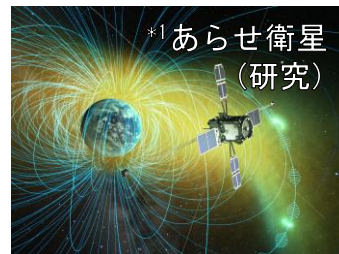
所属：理学研究科 地球物理学専攻  
惑星プラズマ・大気研究センター  
博士3年 (仙台9年目)

出身地：栃木県栃木市

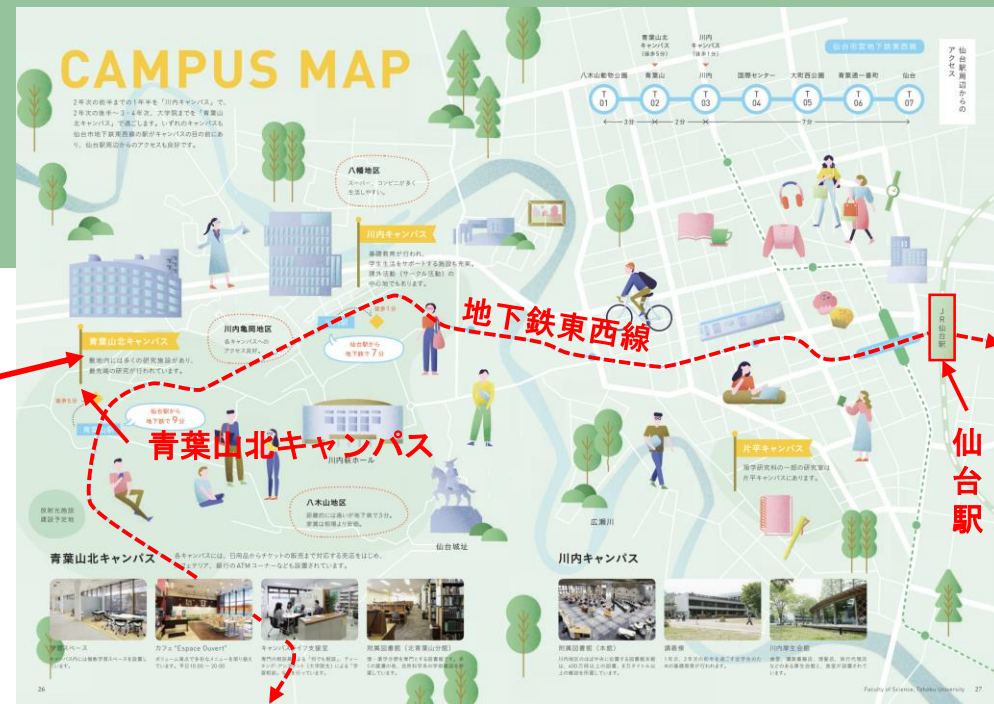
趣味：バドミントン、カメラ、旅行

研究：あらせ衛星\*1を用いた脈動オーロラ\*2の  
発生メカニズムに関する研究など

\*210秒くらいで準周期に点滅するオーロラ



# 仙台市での生活 - 住居編



研究室まで徒歩10分以内！最近では仙台駅の東側の地下鉄東西線沿いに住む学生が増えています。

場所：青葉山北キャンパス裏

冬はこたつが必須！

賃貸タイプ：1Kアパート

家賃：36,000円

山なので家賃が安い！

仙台の住宅事情 大公開!!

東北大生の80%以上が一人暮らし中!!

● 住居タイプ/学部生

アパート、学生ハイツ、マンション	71.5%
学生寮	8.8%
自宅	14.6%
その他	5.1%

● 賃貸タイプ

アパート	54%
マンション	40%
学生会館など	6%

※平成29年度【東北大学学生生活調査】のまとめ『東北大学生の生活』より作成

※東北大学生生活協同組合『お部屋さがしNAVI 2015』より作成

住居タイプ別家賃相場

	家賃	敷金	礼金	備考
1Kアパート	2.1～6.4万円	0～2ヶ月	0～1ヶ月	1K：6～12帖
1Kマンション	1.7～8.5万円	0～2ヶ月	0～1ヶ月	1K：6～11帖

※タイプの名称は、仙台地区において一般的な呼び方をしています。※家賃相場は調査時点のものであり、常に変動します。

エリア別家賃相場

エリア	マンション	アパート
川内周辺エリア	50,300円 (37,000円～)	46,500円 (21,000円～)
八幡周辺エリア	48,300円 (30,000円～)	42,200円 (23,000円～)
三条周辺エリア	40,200円 (25,000円～)	39,600円 (25,000円～)
八木山周辺エリア	37,000円 (17,000円～)	34,500円 (21,000円～)
片平・仙台駅西エリア	57,000円 (30,000円～)	50,600円 (34,000円～)

※上記エリアの平均です。( )内は最低価格。築年数と間取りによって異なります。



# 仙台市での生活 - 生活編

## 収入

日本学術振興会特別研究員

研究奨励金：月額20万円

「学振研究員 \*1」以外にも、東北大学には「環境・地球科学国際共同大学院\*2」、「変動地球共生学卓越大学院\*3」、「学際高等研究教育院\*4」など博士課程後期に進学する学生の経済的支援が充実！親からの仕送りがなくても生活できる！

たまに東北大生無料キャンペーンがあったりします！

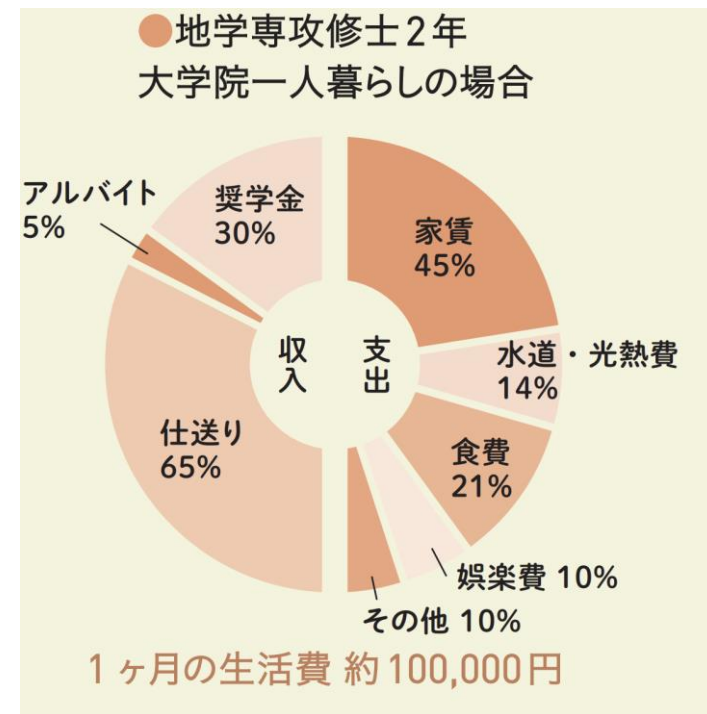
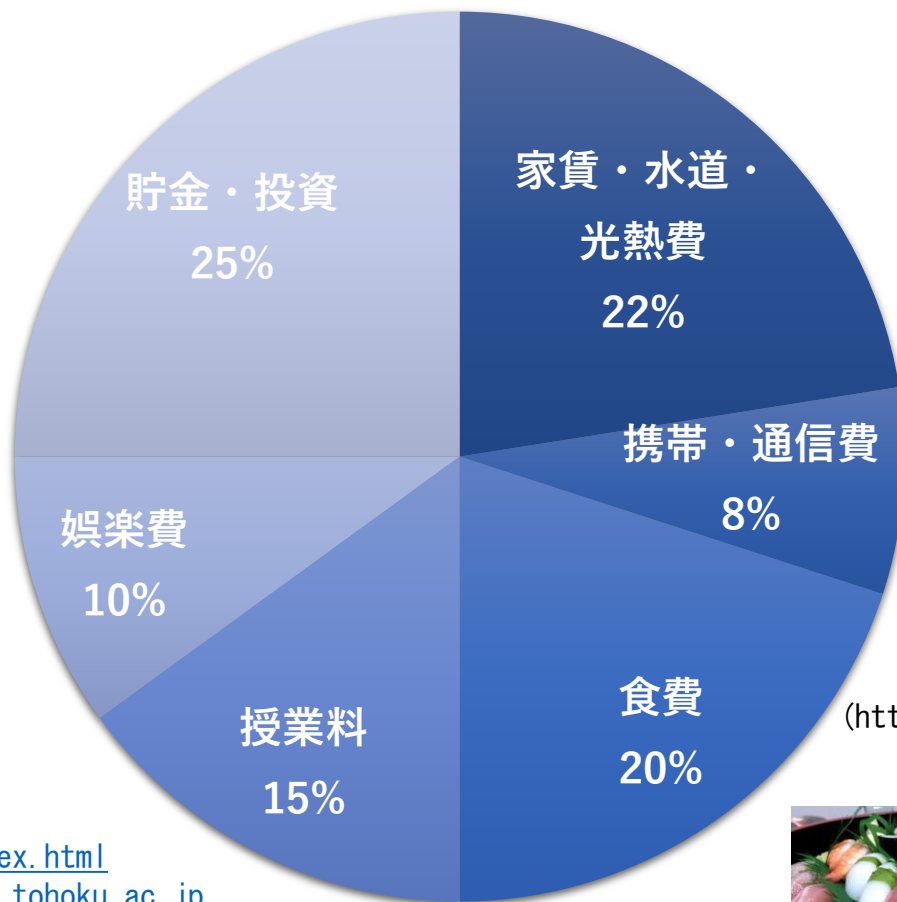


野球観戦



仙台七夕

## 支出



東北大学理学部案内2021より  
([https://www.sci.tohoku.ac.jp/about/pdf/sci\\_annai2021.pdf](https://www.sci.tohoku.ac.jp/about/pdf/sci_annai2021.pdf))



宮城県は生食用牡蠣の生産量全国一位！

- \*1学振研究員：<https://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>
- \*2環境・地球科学国際共同大学院：<http://gp-ees.tohoku.ac.jp>
- \*3変動地球共生学卓越大学院：<https://www.syde.tohoku.ac.jp/>
- \*4学際高等研究教育院：<http://www.iiare.tohoku.ac.jp/>

# 仙台市での生活 - 研究編

## <現在の研究室を選んだ理由>

私は、地球のオーロラの研究がしたいと思い、現在の研究室「惑星・プラズマ大気研究センター」を第一志望とし、無事配属されました。東北大学の地球物理学専攻のC領域には、他に「宇宙地球電磁気学分野」と「惑星大気物理学分野」があり、研究分野の近い3つの研究室が同じフロアにあるので、日頃から惑星や衛星の電磁現象や大気現象について議論することができます。

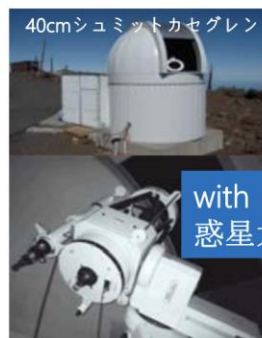
また、私はオーロラの観測などでいろいろなところにフィールドワークに行きたいという思いがあり、これまで、オーロラの観測では、アラスカ（学部4年、修士1年時）とノルウェー（修士2年、博士1年時）に行きました。他にも学会や研究集会でいろいろなところに出張に行きました（自己紹介ページ参照）。博士2年時もオーロラの観測でノルウェーや南極点に行く予定でしたが、残念ながらコロナ禍のために行くことはできませんでした。

また、衛星や観測ロケットに搭載する観測装置の開発に携わっている先生方も多いので、観測装置の開発や最新データの解析に携わることもできます。

## 惑星プラズマ・大気 ~ 未知なる世界への挑戦

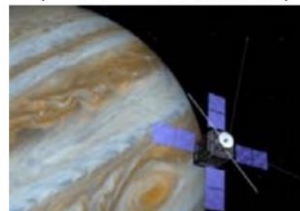
生命を生み育くみうる  
「宇宙唯一の場所・惑星」の理解を  
観測 & 開発によって目指しています。

地上/軌道望遠鏡 +  
衛星・探査機軌道からの  
紫外 - 光 - 赤外 - 電波観測



with  
惑星大気

60cm可視・赤外望遠鏡  
(ハワイ・ハレアカラ山頂)

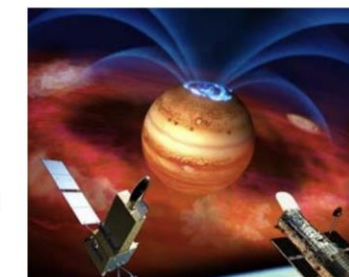


大型電波望遠鏡の  
心臓部・受信機の調整

with 電磁気



太陽・惑星用大型電波望遠鏡  
(福島/飯館)



惑星プラズマ・大気研究センター研究室紹介パンフレットより  
(<http://pparc.gp.tohoku.ac.jp/college-bound/>)



# ご高覧ありがとうございました。

